

台琉友好親善国際ヨットレース

企画趣意書

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、わたしたちは、台湾と沖縄（琉球）の友好親善と文化的、経済的交流を今後ともさらに一層促進することを目的として、今回「台琉友好親善国際ヨットレース」の実施を企画しました。

このヨットレースは、「メルボルン～大阪ヨットレース」や「日韓親善ヨットレース（通称アリランレース）」に次ぐわが国でも3番目の国際親善ヨットレースであり、1998年に「石垣市～花蓮市友好親善国際ヨットレース」（第1回）として発足したものです。その後、2000年（第2回）と2002年（第3回）には「与那国～花蓮友好親善国際ヨットレース」として、隔年ごとに実施されました。

そして、今回は通算4回目のレースとなりますが、これまで諸般の事情からその実施が危ぶまれてきました。しかし、わたしたちは、せっかく芽吹いたこの沖縄（琉球）と台湾の「海の国際的文化交流イベント」を中断してしまうのは、沖縄の海をこよなく愛する者として余りにも忍びないと存じます。

そこで、わたしたちは、今回実行委員会形式により、「石垣～基隆ヨットレース」を企画しました。今後とも台湾と沖縄（琉球）が「海と船」を媒介として文化的、経済的交流を継続し、台琉双方の国民の生涯スポーツ、健康増進および観光リゾートの振興にも大いに貢献するこの国際的イベントを大きく育てていきたいと存じます。

どうか、以上の趣旨について温かいご理解をいただき、本ヨットレースの成功のためにご指導、ご協力とご支援をたまわりますよう心よりお願い申し上げます。

2003年12月吉日

台琉友好親善国際ヨットレース実行委員会

会長 東江 正喜